

研究分野のキーワード：社会心理学、学校適応、友人関係の形成と親密化、友人からの影響

研究紹介

友人との社会的比較が学習意欲に及ぼす影響～有能感のタイプによる比較検討～

問題と目的

自分よりも優れた他者との社会的比較は、学習意欲を高める場合もあれば低める場合もある。例えば、その相手と自分を比較して「自分はダメだ」と思う場合もあれば、「自分も頑張ろう」と思う場合もあるだろう。同様に、自分より劣った他者との比較についても、学習意欲を高める場合と低める場合がある。

本研究では、このような他者との社会的比較が学習意欲に及ぼす影響の違いについて、(仮想的)有能感の個人差という観点から検討する。具体的には、調査対象者の有能感を、自尊感情の高低と他者軽視の高低の組み合わせによって「全能型」「自尊型」「仮想型」「萎縮型」に分類し(図1)、有能感のタイプによって、友人からの影響(下記、ケース①から④)の経験頻度が異なるかどうか、また影響を受けた理由が異なるかどうかを検討する。

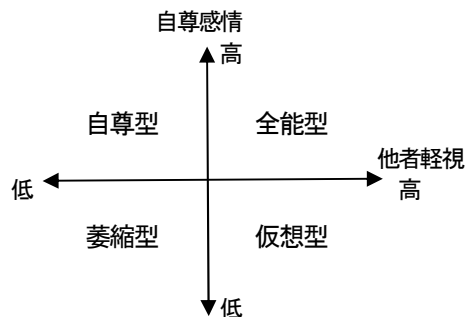


図1 有能感の4タイプ (速水, 2012)

方法

調査対象：大学生1年生 192名 (男=101, 女=91)。
調査内容：(1) 自尊感情尺度 (山本ら, 1982), (2) 他者軽視尺度 (速水ら, 2004),

(3) 友人からの影響経験：以下の4つのケースについて、その経験頻度を「よくあった<4>」「ときどき<3>」「たまに<2>」「全くなかった<1>」の4段階で回答させた。

ケース① (友人意欲高→意欲上昇)：友人の学習意欲が高いから自分の意欲も上がった。ケース② (友人意欲高→意欲下降)：友人の学習意欲が高いから逆に自分の意欲は下がった。ケース③ (友人意欲低→意欲上昇)：友人の学習意欲が低いから逆に自分の意欲は上がった。ケース④ (友人意欲低→意欲下降)：友人の学習意欲が低いから自分の意欲も下がった。

(4) 友人からの影響理由：(3)の各ケースにおいて、

影響を受けた理由を、「科目の特徴」「級友との関係」「教師との関係」「学級雰囲気」の各観点から回答させた。

結果と考察

自尊感情の高低と他者軽視の高低で、調査対象者を有能感の4つのタイプ(萎縮型・仮想型・自尊型・全能型)に分類し、各タイプにおける友人からの影響経験を比較した(表1, 図2)。その結果、「萎縮型」は友人の学習意欲が高い場合も低い場合も学習意欲が低下する経験が相対的に多いこと、「自尊型」は友人の学習意欲が高い場合に学習意欲が高まる経験が相対的に多いこと、「全能型」は友人の学習意欲が高い場合に学習意欲が高まる経験が相対的に多いことが示された。

またそれぞれのケースで影響を受けた理由について分析したところ、有能感のタイプによってその理由が異なることが示された。

表1 有能感のタイプ別の友人からの影響経験頻度(素点)

| | 萎縮型 | 仮想型 | 自尊型 | 全能型 |
|------------------|------|------|------|------|
| 自尊感情 | 24.4 | 24.5 | 34.9 | 34.3 |
| 他者軽視 | 23.7 | 34.2 | 23.8 | 33.6 |
| 影響経験 | | | | |
| ケース①: 友人意欲高→意欲上昇 | 3.3 | 3.4 | 3.7 | 3.5 |
| ケース②: 友人意欲高→意欲下降 | 1.8 | 1.8 | 1.8 | 1.5 |
| ケース③: 友人意欲低→意欲上昇 | 2.2 | 2.5 | 2.5 | 2.6 |
| ケース④: 友人意欲低→意欲下降 | 2.8 | 2.7 | 2.5 | 2.6 |

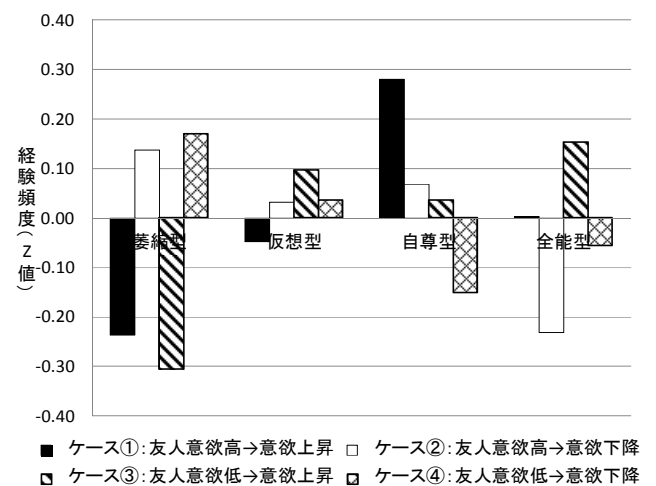


図2 有能感のタイプ別の友人からの影響経験頻度(Z値)